

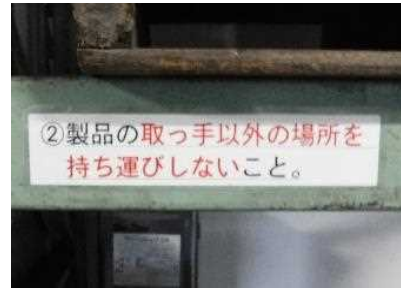
| 整理No. 2019-42 | | 労働災害状況調査表 | | | |
|---|--|---|--|--------------------------|---------|
| 災害発生日時 | | 2019年 8月 21日(水) 11時 10分頃 天候(曇) 温度(32℃)湿度(60%) | | | |
| 災害区分 | | 不休災害 休業災害(休業:0日) | | | |
| 被災者 | 部門 | 製品倉庫 | | 雇用形態 正社員、派遣、契約、その他(協力会社) | |
| | 年齢 | 45歳 | 性別: (男) 女 | 勤続年数 5年 | 経験年数 5年 |
| | 傷病名 | 裂傷 | | | |
| | 傷病部位 | 頭部(額の上部) | | | |
| 災害発生状況 | <p>現場作業員から被災者へ調色剤のピッキング依頼があった。発送作業を済ませるのにその場で5分程待って貰って、倉庫へ探しに向かった。</p> <p>当該石油缶は、倉庫内のパレットラック2段目にあつて、その3段目に積まれており、被災者は、ラック1段目のパレットを足場にして、さらに、依頼者に背中を支えてもらい、ピックアップした。</p> <p>石油缶を両手で挟んだ状態で、足場になっていたパレットから床へ着地した際、石油缶(16.7kg)の重さを腕で支えきれず、石油缶を頭部にぶつけ、2~3cmの裂傷を負い、救急搬送された。</p> <p>通常はピッキングリフトか、立ち馬を使用するところ、置場が離れており、目に見える範囲に無かつたこと、待たせている焦り、ラック1段目のパレットを足場にすれば手が届く高さにあつた事から、不安全だと認識せずに行動した。</p> | | <p>状況概略(写真orイラスト)</p> <p>赤色矢印は保管されていた石油缶の場所</p>  | | |
| | 災害の型※ | 4(落下)、9(動作の反動、無理な動作) | | 作業の形態: 定常(非)定常、その他() | |
| | 起因物: | 石油缶(製品) | | 特記事項 | |
| 原因分類 | 1. 人的要因(man) : 繁忙期で出荷量が多い事。1名が仕事中に通院の為に不在だった事。 | | | | |
| | また、依頼者を待たせている焦りからピッキングリフトを使用して安全に作業すべきところ、1缶だけという事で作業を簡略化した事。 | | | | |
| | 2. 物に関する要因(machine) : ピッキングリフトや立ち馬は使用出来る状態で別の場所に置いてあつたが、見える範囲には無かつた。 | | | | |
| | 3. 環境要因(media) : 調色剤は、1段目に保管していることが多いが、保管スペースの問題と、使用頻度の少ない品だったので2段目に保管されていた。 | | | | |
| 4. 管理的要因(management) : 2017年12月に他拠点でルール化していた「製品ラック2段目以上は必ずフォークリフトを使用する。」が水平展開・徹底されていなかった。 | | | | | |
| 対策 | (再教育:ルールの徹底) 製品ラックの2段目以上は、立ち馬かピッキングリフトを使用する。 | | | | |
| | (現場掲示) 上記の旨の掲示を行なう。 | | | | |
| 対策分類※2): 1-1安全情報、1-6教育、2-4危険認識 | | | | | |

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)

是正措置 対応写真 掲示が未対応だった倉庫に注意喚起の掲示を実施。

当該倉庫



倉庫1



倉庫2



倉庫3



倉庫4

